

歴史(明治時代⑤・国際関係編)

1871年、清と対等な立場での条約(①)を結んだ。しかし、1872年に琉球藩を置き、日本の領土であるとしたが、清がこれを認めなかったため、その後台湾に出兵し、清から賠償金を得て、さらに琉球の人々の反対をおさえつけて、②を設置した(③)。

政府内には、武力で朝鮮国を開国しようとする④論が高まっていたが、政府内での意見が分かれてしまい、使節の派遣を主張していた⑤や⑥などは政府を去った(⑦)。その後、1875年の⑧事件をきっかけに、朝鮮との間に、清の宗主権を否定し、独立国と認める条約(⑨)を結び、開国させた。

また、1875年にロシアと⑩条約を結び、ロシアに⑪の領有を認め、⑫のすべてを日本領にした。